

令和6年度 第1コミュニティ町政懇談会 10月15日(火) 参加者：町民11名 職員8名

No.	カテゴリー	発言内容	回答内容	回答者
1	第七次総合計画の策定について	アンケートはいつ頃実施されたのでしょうか。 また、その設問内容は、第六次の実績について伺っているのでしょうか。	アンケートですが、今年の4月20日頃から5月20日頃にかけての1カ月間で実施しました。アンケートの内容は、おっしゃるとおり、第六次の実績について何うとともに、第七次に向けて、(施策等で)足りない部分をお聞かせいただく趣旨のアンケートになります。	企画財政課企画交流係長
2	第七次総合計画の策定について	第六次のときも(第五次の実績についての)アンケートを行っているのでしょうか。また今回と同じような項目でやっているのでしょうか。 5年、10年という形で、経過が分かるのでしょうか。	第六次総合計画の本冊の中に、「町民意識調査」ということで、第五次の実績等について伺ったアンケート結果を掲載しており、そのアンケートは、今回と同じような項目で実施しています。 第五次の実績等について伺ったアンケート結果を第六次の総合計画に掲載しており、また、第六次の実績等について伺ったアンケート結果は第七次の総合計画に掲載予定で、経過が分かる形となっています。	企画財政課企画交流係長
3	第七次総合計画の策定について	アンケートですが、前回(5年前)は1,000人出して445人の人から回答があり、それに比べると、今回は361人で、80人も減っているのですが、その辺の考察はありますか。	分析が完全にできた訳ではありませんが、今回は、次代の小布施町を担う皆さんからも幅広くご意見をお聞きしようと、前回と比べて対象年齢を15歳以上に引き下げて実施しました。無作為ではありながら、年代や自治会、性別のバランスを取りながら(考慮しながら)、アンケートを発送させていただいたところです。前回との大きな違いはそこで、対象年齢を広げた分、回答に至らなかったところはあったかもしれません。 ただし、回答率の減少の原因が、すべてそれによるものか、一概に結論づけられないところではあります。	企画財政課企画交流係長
4	第七次総合計画の策定について	本日の資料だが、総論的なことが書いてあるだけで、具体的なことが分からない。例えば、「出産・教育・子育て」の箇所で、「安心して産み育てられる環境づくり」、「子どもを中心とした地域の連携づくり」などは「スローガン」で、「スローガン」だけでは、何をやるのか分からない。例えば、給食費無料化とか、具体的な施策や目玉を上げてほしい。	本日の説明は、総合計画のさわりの部分だけの紹介となってしまう、その点に関して申し訳ありません。現在、具体的な施策(事業)については各事業課において構想シートとしてまとめているところです。それが最終的に、スローガンに事業が紐づいて、この総合計画の大きな冊子になります。本日はその素案、具体的な事業についてお示しできず申し訳ありません。年末年始ぐらいには素案をパブリックコメントとしてお示しできるかと思っています。具体的な事業案については、公開の際にご確認いただければ幸いです。	企画財政課企画交流係長
			【担当課回答】 令和6年12月27日から令和7年1月14日までパブリックコメントを実施しました。具体的な施策等につきましては、策定後の第七次総合計画をご確認ください。	企画財政課企画交流係

令和6年度 第1コミュニティ市政懇談会 10月15日(火) 参加者：町民11名 職員8名

No.	カテゴリー	発言内容	回答内容	回答者
5	第七次総合計画の策定について	5年ごとに計画を立ててやっているわけですが、5年間の総合計画の中で、どんな形で事業や議論が進んできたのか、見えると良いです。例えば、子育てのところで一番関心があった、保育園の設備が古く、未満児の遊べる遊具が少ないという課題が5年前にも出ていますが、この5年間の中で保育園や幼稚園の統合も含めて、今後どうしていくのか話し合われているのかとか、その議論の上で、改築計画がなされているのか、その経過が分かるようにしていただけると良いと思います。目玉で実施してきたものがここまで進んでいる、というのが見える形で知らせていただければと思います。	今、具体的に保育園の話が出ましたが、町で進めている事業の広報がまだまだ不十分なところもあります。町ホームページや町報など、いろいろな手段で皆さんにお伝えしていますが、不十分なところもあり、課題だと思っています。	町長
			町民の皆さんにどのようにすればしっかり情報が伝えられるか、というのは昔から課題としてあり、細か過ぎると厚い冊子になってしまい逆に分かりづらいという声もお聞きます。例えば、過去に「ここに使います今年の予算」という冊子を作成してお配りしていましたが、細か過ぎて分かりづらいという声や、ページ数が多くて読まないなどの課題があり、ダイジェスト版を作るなど、情報発信の仕方を試行錯誤してきた経過があります。一概にどのような方法が良いか答えは出ませんが、詳細にお伝えすべきものと概略でお伝えした方がより伝わりやすいものがありますので、ケースバイケースで皆さんにしっかり情報をお伝えしていきたいと思っています。	総務課広報情報係長
			【担当課回答】 事業の実施に至るまでの経過や、その成果について、町民の皆さんに広くお知らせし、その効果検証を基に新たな計画が進んでいることをお示しできるよう、今後も情報提供のあり方を検討していきます。	企画財政課企画交流係
6	第七次総合計画の策定について	総合計画のアンケートの問題点の中で、スポーツが盛り上がっていない、というのがあります。今年も町民運動会があって去年よりも盛況だったが、コロナ禍後、午前中だけで終わってしまうので、物足りなく感じてしまったので、昔のような形に戻していただけるように検討いただきたい。 また、町でやっていることではないが、町民ゴルフ大会も昔は盛んで、多いときは120人ぐらいの参加があったが、今はせいぜい40～50人ぐらい。スポーツ協会の関係だが、町の職員も出ていただいて盛り上げてほしい。 町民運動会をはじめ、町民同士のふれあいの場をもっと設けていただければと思う。	町民運動会は、コロナ禍が落ち着き、昨年(令和5年)から、久しぶりに開催することができました。コロナ禍もあり、食事を一緒にとるとというのが心配だという声もあったためお昼前に終了するように変更してきました。また、選手集めが大変だとか、自治会の負担が大きいというのもあり、コロナ禍をきっかけに、内容を見直してきた経過があります。一方で、防災面などと言うと、いかに日頃から地域のコミュニケーションが作れているかが大事で、町民運動会のような地域住民同士の顔が分かるお付き合いや場づくりは大切です。開催方法等については皆さんのご意見をお伺いして、皆さんに参加いただけるよう、内容を練りながら、今後も町民運動会は続けていきたいと思っています。	町長
			役場内で声をかけるなどしましたが、なかなか都合がつかないこともあり今回は3人の参加でした。町民ゴルフ大会に限らず、職員がそういうところに顔を出して、町民の皆さんとお話する機会は大事だと思っています。	住民税務課長
		(上記の意見を受けて別の方から) アンケートを見ると、町民運動会をはじめ、体育行事が自治会の負担になっている、という話があり、また、町民ゴルフの話も(昔と違って、趣味も多様化している中で)町民の皆さんの考え方が変わってきている、という実情がある。昔こうだったから、また元に戻すというふうにならない。時代の変化に合わせて、どういうふうにするのかを考えるのが町政だと思う。 アンケートに自治会負担が大きいと書いてあるのだから、いかに負担を少なくしていくかを考えていくべきだと思う。	【担当課回答】 開催後に実施したアンケートのご意見等も参考に、選手依頼をはじめ参加しやすい方法を今後も心掛けていきます。 また、町内の団体や地域が開催する行事に職員が参加し、住民の皆さんと交流を深めることは大変大切であると認識しており、今後、庁内で共有を図ります。	教育委員会 生涯学習課生涯学習・スポーツ振興係

No.	カテゴリー	発言内容	回答内容	回答者
7	第七次総合計画の策定について	中学校のPTA会長をやっていたとき、この町は町長さんと近く、要望すると親身になって対応してくれた。少し前にネットのアンケート調査で、自然と観光に恵まれている自治体の総合ランキングで全国1位になっているのを見て、小布施町は頑張っているいいなと思う。こういう機会(市政懇談会)も小さい町だからできる。 さて、子育てや人口を増やすという話の中で、小布施町は有名ですし、町職員も一所懸命頑張ってくれていただいているが、町内で子どもがたくさん生まれるというのはなかなか難しいので人口を増やすには移住しかないところがある。移住するタイミングとすると、幼稚園や保育園、小学校に上がる時などにどこで暮らそうかと、子育てのタイミングで考えることが多い。子育ての環境が良いかどうかというのは大事で、南箕輪村など子育て世代が多く移住してきている自治体の施策を参考に、お金はかかってしまうが、例えば給食費無料化など考えていただくと嬉しい。 また保育士さんの待遇や、町職員の待遇も良くないと優秀な人材も集まらない。ここ数年いろいろあって、町職員の負担も大きいということも聞くので、住民もそうですけれど、職員の皆さんも働きやすくて、幸せに暮らせる役場であってほしいと思うので、そこら辺も忘れずをお願いしたい。	小布施町は移住いただける方も多く、人口減少が緩やかであり、大変ありがたいことだと思います。町内には保育園2園と幼稚園1園があり、子ども自体の数は変わらないのですが、必要とされる保育士の数は昔に比べて増えています。保育士をはじめ専門職と言われる方々の募集を頻繁に行っているものの、条件が良い方によってしまいます。予算も限られているためなかなか難しいところもありますが、小布施町が好きで来てくれる保育士もいます。いずれにしても絶えず募集を行っている状況です。また、秋の時期はイベントも多く、この前の町民運動会や今週末の六斎市、駐車場の案内や交通整理の対応など、休日にも働いています。数年前に比べると、職員数も増やして、正規職員は98人から130人にしました。とはいえ、休日出勤した分を代休消化できるかというと、まだまだできていないところもあります。時間外勤務についてはデータをとってチェックしたり、水曜日をノー残業デーにして取り組んでいたり、時間内に仕事を終えるように働きかけをしているところです。まだまだ道半ばですが、職員の負担軽減に努めているところです。	町長
			【担当課回答】 子育て支援に関しては、母子保健や児童福祉、保育・教育等で様々な施策や事業を進めています。子育て世帯の経済的な負担軽減策(福祉医療費の支給、学校給食費の補助、出産祝い金・多子世帯への入学祝い券事業など)も行っているところですが、ご指摘のとおり多額の費用が必要になることから、すべてのご要望にお応えすることは難しい面もあります。移住先として選んでいただけるよう、移住定住施策や少子化対策事業の充実のほか、より効果的で魅力ある子育て環境を整えていきたいと考えています。 様々な保育ニーズにお応えするためにも、保育士等専門職の確保は必須であり、これまで増員を図ってきましたが、充足されている状態には至っていません。働きやすい職場づくりに向けて、保育現場の環境整備や保育士等のキャリア形成の実現に向けた組織体制の整備と昇任昇格基準の見直し等にも取り組んでいく必要があると考えており、総合教育会議の場でも町長部局と議論を進めています。	教育委員会 子ども課家庭支援係
8	第七次総合計画の策定について	資料3ページの基本理念の4番目に「新しい価値観や方法論」という言葉があって、その通りだとは思いますが、一方で、今、町に住んでいる方が何を望んでいるか、またこの数十年にわたって来てくれる観光客がこの町の何を魅力に感じて来てくれるのかというと、「新しい価値観」はないでしょうと思っている。やはり「普遍的な価値観」があって、それを守るために新しい方法論を取り入れますというべきじゃないかと思う。価値観を変えていくというのは、ちょっとこの町にあまりふさわしくないのかなと感じるところがあるので、ちょっとご検討いただければと思う。	【担当課回答】 これまでの取り組みの本質的な部分は継承しながら、時代に即した新しい考え方や方法論の導入と推進を図ります。第七次総合計画の基本理念において、表現に関するご意見として承り、反映します。	企画財政課企画交流係

令和6年度 第1コミュニティ町政懇談会 10月15日(火) 参加者：町民11名 職員8名

No.	カテゴリー	発言内容	回答内容	回答者
9	地域の課題について	高井鴻山の友の会の会員で、ボランティアでお客さんを案内した。栃木県から来られた方がいたが、スマートICの看板が小さくて分からなかったよ、という声があった。また、この時期は、国道403号も渋滞してしまうので、誘導を上手にやらないといけない。 また上町に限ったことではないが、国道403号でカラスのフンがひどく、カラスの対策もしっかり行わないといけない。 アンケートを取るのもいいが、町内をよく歩いて見てほしい。また、松代などは環境整備をしっかりとやっていたりするので、他のところも参考にしてほしい。	【担当課回答】 看板設置の管理者に、看板付け替え時にわかりやすくなるよう要望します。	建設水道課都市・建設係
			【担当課回答】 国道403号線のカラスについては、近隣住民の方から相談があり、中部電力に電柱・電線にカラスがとまることを防ぐ器具の設置を依頼しました。(長野信用金庫小布施支店から上町信号までの区間)今年度夏に依頼し、片側の電柱・電線(東側の歩道)に12月に設置が完了しました。反対(西側)は令和7年中に着手予定です。 カラスやムクドリなど野生鳥獣は生態系の一部であり、フンや鳴き声への根本的な対策はない状況です。一か所に大群となるのを防ぐよう地域の協力をいただきながら対策を考えていきます。	住民税務課住民係
10	地域の課題について	(上記の意見を受けて別の方から) 交通渋滞に関しては20年前から全く変わっていない。駐車場をしっかりと確保するとか、確保できないのであれば車の進入を止めてバスだけにするとか根本的な対策が必要だと思う。	【担当課回答】 行楽期については、看板・誘導員・駐車指導員等で誘導対策を行っていますのでご理解をお願いします。	建設水道課都市・建設係
11	地域の課題について	上町の唯一の危険箇所が、見海造園を下っていく細い道の左側の用水路です。春にも自治会長会議の折にも、どうすればいち早く、蓋なり、グレーチングなりできるか相談しているのですが、用水路に葉を詰まらせないのみならず、安全のためにも必要なので、どんな形でも良いので早くやってほしい。 自治会を通して要望を上げると早くできるという話を聞き、自治会長にも話していますが、地域住民とすると早く安全になるようお願いします。	教育委員会で行っている通学路の安全協議会を過日開催し、現場の方は確認しました。グレーチングがいいのかどうかなど、今後どうしていくのかということについては皆さんと話し合っていきたいと思っています。	教育長
			自治会から要望を上げた方が早いのではないかと話について、各自治会からの要望も多く順番にはなりますが、水路や道路などの修繕の場合、自治会から要望を上げていただくのが一番最短でいけるのではないかと思います。ただし、工事の仕方(内容)によって地元負担金が若干かかってくるため、工事の内容等とはご相談させていただければと思います。 まずは自治会でご要望いただければと思いますので、よろしくお願いします。	建設水道課長補佐

令和6年度 第1コミュニティ町政懇談会 10月15日(火) 参加者：町民11名 職員8名

No.	カテゴリー	発言内容	回答内容	回答者
12	地域の課題について	小布施堂の前だとか松葉屋のところだとかの、栗の木レンガについて、古くなってガタがきていて美しくない。	あの場所を打ち替えたのが平成24年になります。10年に一度打ち替えしないと腐ったり、穴が開いたりしますので、来年度、予算要求をして全面打ち替えの予定です。	建設水道課長補佐
13	地域の課題について	(上記の意見を受けて別の方から) 素材ですが、また同じ栗の木レンガにするのですか。 小布施堂の前のところは修理されている箇所はあるが、やっぱり歩きづらいようなところがあって、あれでやっていくのが本当にいいのか、観光客が歩くにしても、と思うところがある。 (別の方から) 栗のレンガがガタガタしていたり穴が開いたりしていて、高齢者には大変。バリアフリーにしていなければいい。	素材についても意見が出ているのですが、栗の小径については、町並修景事業の一番のシンボルの場所でもあるので、栗の木レンガでやりたいと考えています。 打ち替えについては現在10年に一度という話をしましたが、観光のメインの場所になりますので、短縮した期間の中で打ち替えできれば良いと思っています。	建設水道課長補佐
			先ほど担当が申し上げたように、北斎館から前の細い道(栗の小径)は、町並修景事業のシンボリックな場所として、栗のブロックでやっていきたいと思います。 信金の前の歩道が荒れてしまっていますが、交通量の多いところ、傷みが激しいところについては違う形をとるということも考えなくてははいけません。景観に合うもので、耐久性もあるものについては検討をしているところです。 また、歩道も今はアップダウンのある形ですが、フラットにできないかということも検討しています。	町長
14	地域の課題について	栗の小径について、1カ月ほど前だが、傘風楼の前のところで穴が開いていて危険だったので、高井鴻山記念館の事務担当者から町担当者へ連絡していただいた。昨日ちょうど鴻山記念館の案内ボランティアがあって見に行ったら、アスファルトで埋めてあって良かった。	(対応に対するお礼であったため、特に回答はなし。)	